

2025年11月19日

**明治安田「いい夫婦の日」に関するアンケート調査を実施
“出会いのきっかけ”は「マッチングアプリ」が3年連続トップ
新婚旅行の行き先は円安・物価高の影響で国内が人気
理想の有名人夫婦は「DAIGO・北川景子」夫妻が初の首位に**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、11月22日の「いい夫婦の日」にちなんで、夫婦をテーマとしたアンケート調査を実施しましたのでご報告します。

1. 夫婦の出会いと結婚

（1）出会いのきっかけ（詳細は7ページ参照）

○1年以内に結婚した夫婦に“出会いのきっかけ”を聞きました

■“出会いのきっかけ”は「マッチングアプリ」が3年連続トップに

- ・“出会いのきっかけ”のトップは、「マッチングアプリ」（30.4%）で、昨年から0.6p t上昇し、過去最高となり3年連続首位に
- ・マッチングアプリを利用した動機は、「手軽に出会えるから」（50.0%）、「好みの相手を選ぶことができるから」（39.5%）、「職場に出会いがないから」（28.9%）と、「身近な出会いがなくても、手軽に好みの相手を探せる」方法として定着か

■「職場婚」も上昇！“出会いの王道”にも復活の兆しか

- ・“出会いのきっかけ”の2位は「友人・知人の紹介」（19.2%）に
- ・3位は「職場の同僚・先輩・後輩」（17.6%）となり、昨年から7.0p t上昇
- ・「職場の同僚・先輩・後輩」と結婚した人に交際に発展したきっかけを聞くと、「職場のランチ・飲み会」（59.1%）がトップに
- ・リアルな交流の場が増えた今、出会いの王道の“職場婚”にも復活の兆しか

（2）結婚までの交際期間と同棲について（詳細は8ページ参照）

■1年以内に結婚した人の6割以上が“同棲してから結婚”へ

- ・1年以内に結婚した夫婦の交際期間は3年と、10年以内に結婚した夫婦の2年10カ月と比較しても大きな差はなし
- ・“結婚するまでに同棲したか”を聞くと、1年以内に結婚した人の6割以上（67.2%）が「同棲してから結婚をした」と回答しており、10年以内に結婚した夫婦の47.5%を大きく上回る結果に
- ・“手軽な出会い”が普及しているなか、結婚については互いの価値観やライフスタイルを慎重にすり合わせてから行なう夫婦が増えているのかもしれない

2. 現在の夫婦関係

(1) 夫婦円満について（詳細は10ページ参照）

■夫婦円満の秘訣は“よく会話”すること！

- ・「夫婦仲が円満」と回答した人は78.4%と、昨年よりも2.6p t アップ
- ・“夫婦円満のために必要なこと”を聞くと、トップは「よく会話する」(49.3%)
- ・“夫婦仲が円満”な人の休日1日あたりの会話時間は、約4時間30分だが、“夫婦仲が円満でない”人は約50分と、5倍以上もの開きが
- ・仕事や家事など忙しいなかでも、夫婦の会話時間をしっかりと取ることが“夫婦円満”の秘訣か

■家事の分担は当たり前！？“家事への満足度”が夫婦円満に影響か

- ・“共働き世帯”に“家事の分担”について聞くと、64.7%が「分担している」と回答し、“専業主婦（主夫）世帯”の50.7%より14.0p t 多い傾向に
- ・共働き世帯で、“夫婦仲が円満”な夫婦では約8割(81.3%)が「配偶者の家事に満足」しているのに対し、“夫婦仲が円満でない”人は3割以下(26.8%)という結果
- ・“共働き世帯”は全体の69.2%を占め、昨年から2.0p t 増加傾向にあるなか、夫婦ともに“当たり前”に家事を行なっていくことが、“夫婦円満”のニュースタンドになっていくのかもしれない

(2) 夫婦のお財布事情（詳細は14ページ参照）

○“お小遣い制度を導入している”夫婦に、気になるお財布事情を聞いてみました

■年収増えても家庭内の“賃上げ”は据え置きに？“お小遣い額が増えた”人は僅少

- ・「お小遣い制度を導入」している夫婦は全体の4割(39.0%)で、ひと月あたりの「お小遣い額」の平均は30,680円
- ・“お小遣い制度を導入している”夫婦で、昨年より「世帯年収が増えた」人は31.6%となったが、お小遣い額が増えた人はわずか4.6%に留まり、約9割(91.8%)が「変更していない」と回答。家庭内の“賃上げ”は据え置きとなっている状況
- ・「物価高の影響を感じる」と回答した人は約9割(92.0%)で、特に影響を感じる項目は「食料品」(96.0%)、「光熱費」(48.7%)、「ガソリン代」(42.5%)と生活費への影響が大きい模様
- ・年収の増加を上回る“生活費の高騰”が、夫婦のお小遣いアップを妨げているのかもしれない

(3) 夫婦とAI（詳細は16ページ参照）

○AIの進化が目覚ましい昨今。夫婦生活でもAIが活用されているのか聞いてみました

■“お金の管理”も“夫婦げんか”にもAIが活躍。7割超の夫婦がAIを活用！

- ・出会いや結婚生活において「AIの意見を参考にする機会」があるかを聞くと、全体の7割超（75.1%）が参考にする機会があると回答
- ・具体的な活用機会は、「家計管理」（27.1%）がトップで、続いて「けんか後の関係修復」（24.4%）、「大きな買い物をする際」（21.7%）の順になり、AIは“お金の管理”や“けんかの仲裁役”まで広く相談相手になっている状況
- ・また、1年以内に結婚した夫婦では「交際までのアプローチやデートプラン」（20.0%）や「交際の申し込みやプロポーズのタイミング・方法」（9.6%）等の交際期間でもAIを活用した人が約3割（29.6%）に
- ・人に話にくいことでも、相談できる相手としてAIが活躍しているのかもしれない

3. 新婚旅行（詳細は17ページ参照）

■円安・物価高の影響で、新婚旅行は国内旅行が人気に

- ・1年以内に結婚した人では、約半数（49.6%）が新婚旅行へ行っており、そのうち、「海外旅行へ行った」人は41.9%、「国内旅行へ行った」人は58.1%と、国内旅行が多数派に
- ・1年以内に結婚した人に新婚旅行にかかった費用を聞くと、「海外旅行へ行った」人は平均89万7,523円、「国内旅行へ行った」人は平均27万6,667円と、海外旅行は国内旅行の3倍以上の費用がかかる傾向に
- ・1年以内に結婚した人に海外旅行へ行かなかった理由を尋ねると、「国内に行きたい旅行先があった」（30.3%）がトップに。また「円安の影響で費用がかかるから」（18.2%）、「海外は国内を上回る物価高により費用がかかるから」（12.1%）と、円安・物価高による影響が足枷となっている人が約3割（30.3%）を占める結果に
- ・1年以内に結婚した人の新婚旅行の行き先は、「沖縄」（22.4%）、「ヨーロッパ」（16.1%）、「北海道」（11.3%）の順で人気
- ・円安・物価高が長引く限り、国内旅行の人気は続くのかもしれない

＜新婚旅行の行き先＞

	1位	2位	3位
1年以内に結婚した人	沖縄（22.4%）	ヨーロッパ（16.1%）	北海道（11.3%）
10年前に結婚した人	ハワイ（22.6%）	沖縄（16.1%）	大阪（9.7%）

明治安田総合研究所 エコノミスト 藤田 敬史が
新婚旅行にかかる行き先 円安・物価高の影響について分析！

4. 理想の有名人夫婦（詳細は20ページ参照）

■「DAIGO・北川景子」夫妻が30代から圧倒的な支持を受け初のトップに！

「大谷翔平・真美子」夫妻は2位にランクイン！

- ・第1位は「DAIGO・北川景子」夫妻。30代から圧倒的な支持を集め、初のトップに。
「仕事と子育てを両立しながら活躍し続けている」等、夫婦で子育てを楽しみながらも活躍し続ける姿への憧れの声が多く集まりました
- ・第2位は「大谷翔平・真美子」夫妻。「笑顔で夫を支えているから」「爽やかで、お互いを大切にしていることが伝わる」等、MLBで4度目のMVPを受賞するなど、世界で活躍し続ける大谷選手を支える真美子夫人に共感する意見が多くありました
- ・同率で第2位の「ヒロミ・松本伊代」夫妻は、「いつまでも仲が良い」と円満な夫婦としてのイメージが定着しているようです
- ・また、「杉浦太陽・辻希美」夫妻は20代からトップの支持を受け、6位にランクイン。
「夫が家事や育児に積極的」「第5子を産む際も夫婦でよく話し合っていた」等、夫婦がしっかりと協力しながら、子育てをしている姿が人気の理由となりました

対象者の属性

1. 調査対象

20～79歳の既婚男女

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2025年10月8日（水）～10月20日（月）

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,620人

6. 回答者の内訳

（単位：人）

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	計
男性	135	135	135	135	135	135	810
女性	135	135	135	135	135	135	810
計	270	270	270	270	270	270	1,620

【 目 次 】

<u>1. 夫婦の出会いと結婚</u>	・ ・ ・ ・ ・ 7 ページ
(1) 出会いのきっかけ	・ ・ ・ ・ ・ 7 ページ
(2) 結婚までの交際期間と同棲について	・ ・ ・ ・ ・ 8 ページ
<u>2. 現在の夫婦関係</u>	・ ・ ・ ・ ・ 10 ページ
(1) 夫婦円満について	・ ・ ・ ・ ・ 10 ページ
(2) 夫婦のお財布事情	・ ・ ・ ・ ・ 14 ページ
(3) 夫婦と A I	・ ・ ・ ・ ・ 16 ページ
<u>3. 新婚旅行</u>	・ ・ ・ ・ ・ 17 ページ
<u>4. 理想の有名人夫婦</u>	・ ・ ・ ・ ・ 20 ページ

1. 夫婦の出会いと結婚

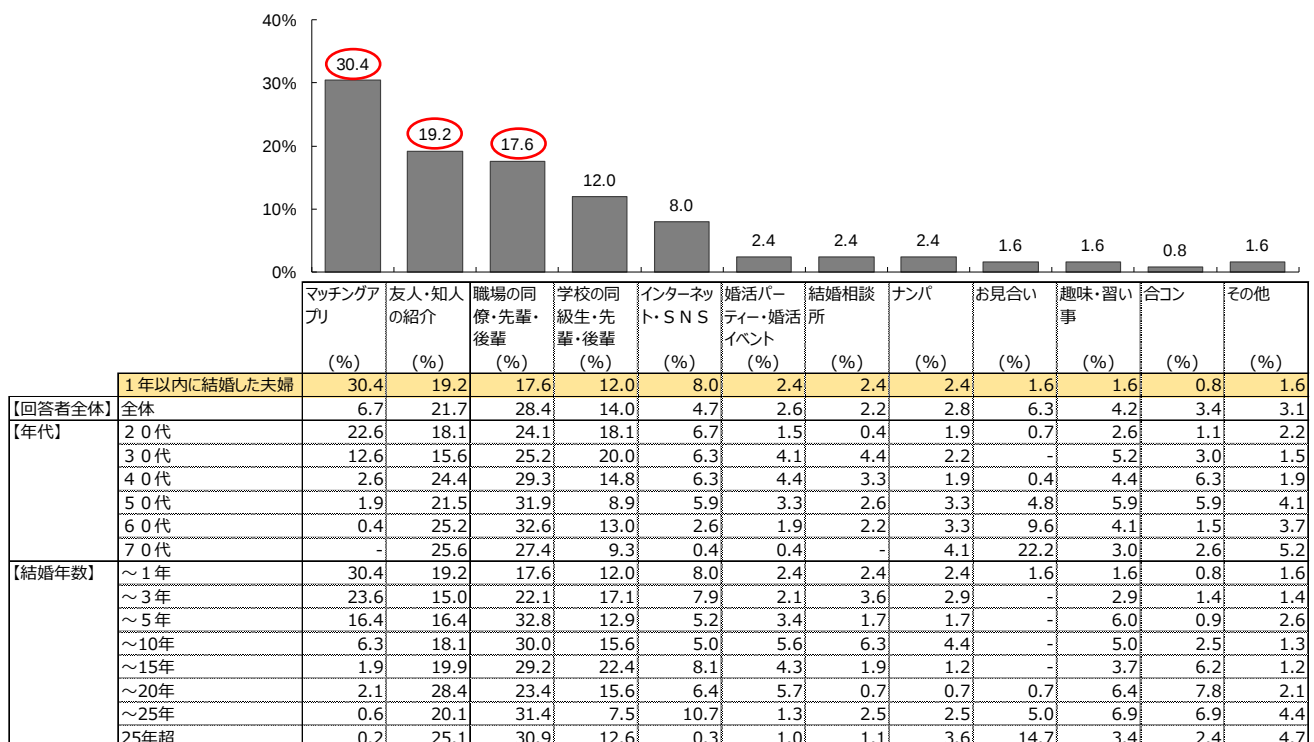
(1) 出会いのきっかけ

“夫婦の出会いのきっかけ”は「マッチングアプリ」が3年連続トップ

- 1年以内に結婚した夫婦に“出会いのきっかけ”を聞いてみました。
- 「マッチングアプリ」(30.4%)が、昨年の調査(29.8%)から0.6pt上昇し、過去最高となり3年連続でトップになりました。
- マッチングアプリを利用した動機を聞くと、「手軽に出会えるから」(50.0%)、「好みの相手を選ぶことができるから」(39.5%)、「職場に出会いがないから」(28.9%)の順となり、“身近な出会いがなくても、手軽に好みの相手を探せる”方法として定着しているようです。
- “出会いのきっかけ”の2位は「友人・知人の紹介」(19.2%)となりました。
- 3位は「職場の同僚・先輩・後輩」(17.6%)となり、昨年の10.6%から7.0pt上昇しています。
- 「職場の同僚・先輩・後輩」と結婚した人に、交際に発展したきっかけを聞くと、「職場のランチ・飲み会」(59.1%)がトップでした。
- リアルな交流の場が増えた今、出会いの王道の“職場婚”も復活の兆しがあるのかもしれない。

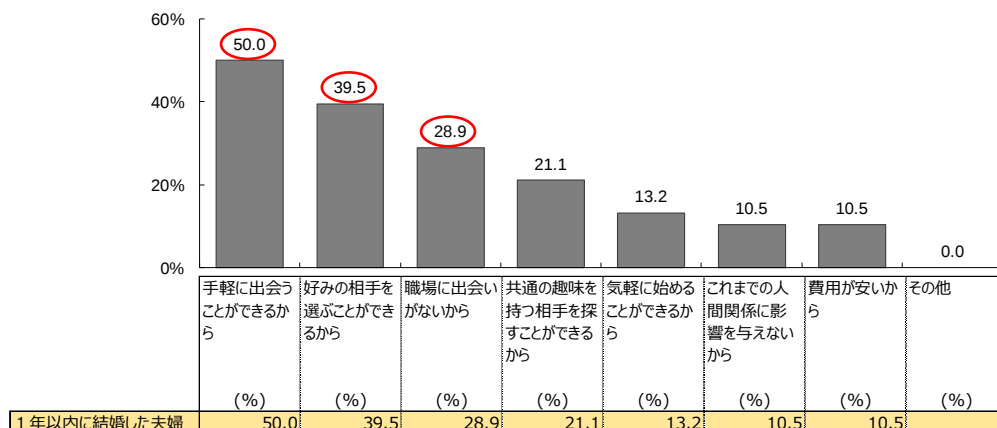
Q. 夫婦の出会いのきっかけは何ですか（単一回答）

（1年以内に結婚した夫婦・全体・年代別・結婚年数別）



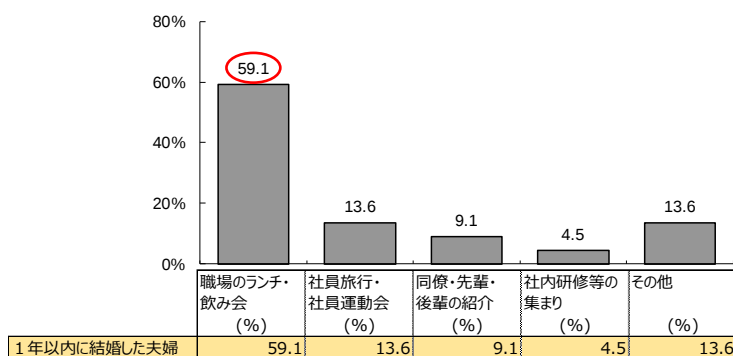
Q. 「マッチングアプリ」を利用した理由は何ですか（複数回答）

（１年以内に結婚した夫婦のうち、「マッチングアプリ」で結婚した夫婦が回答）



Q. 交際に発展したきっかけは何ですか（単一回答）

（１年以内に結婚した夫婦のうち、「職場の同僚・先輩・後輩」と結婚した夫婦が回答）



（２）結婚までの交際期間と同棲について

１年以内に結婚した夫婦の６割以上が“同棲してから結婚”へ

- １年以内に結婚した夫婦の交際期間は３年と、１０年以内に結婚した夫婦の２年１０カ月と比較しても大きな変化はありませんでした。
- 結婚するまでに「結婚するまでに同棲したか」と聞くと、１年以内に結婚した夫婦の６割以上（６７．２％）が「同棲してから結婚をした」と回答しており、１０年以内に結婚した夫婦の４７．５％を１９．７ｐｔも上回る結果となりました。
- 同棲期間についても、１年以内に結婚した夫婦では平均１年５か月で、１０年以内に結婚した夫婦より３カ月長期化しているようです。
- “手軽な出会い”が普及していますが、結婚については互いの価値観やライフスタイルを慎重にすり合わせてから行なう夫婦が増えているのかもしれません。

Q. 結婚するまでの交際期間を教えてください

(全体・結婚年数別)

	～1年 (%)	～3年 (%)	～5年 (%)	～10年 (%)	～15年 (%)	～20年 (%)	～25年 (%)	25年超 (%)	平均 (0カ月含む)
全体	34.7	37.8	15.3	11.1	0.7	0.2	-	0.1	32カ月
～1年	28.0	41.6	14.4	15.2	-	-	-	0.8	36カ月
～3年	30.7	35.7	21.4	10.7	0.7	0.7	-	-	34カ月
～5年	31.0	37.9	13.8	15.5	1.7	-	-	-	35カ月
～10年	30.0	40.6	16.9	10.6	1.3	-	-	0.6	34カ月
～15年	33.5	31.7	14.9	18.6	0.6	0.6	-	-	37カ月
～20年	36.9	29.8	14.2	17.7	0.7	0.7	-	-	36カ月
～25年	40.3	38.4	12.6	7.5	1.3	-	-	-	28カ月
25年超	37.2	40.1	15.0	7.1	0.5	-	-	-	28カ月

Q. 結婚するまでに同棲しましたか (単一回答)

(結婚年数別)

結婚年数	同棲した	同棲していない
～1年	67.2	32.8
～3年	58.6	41.4
～5年	61.2	38.8
～10年	47.5	52.5
～15年	42.2	57.8
～20年	34.0	66.0
～25年	27.7	72.3
25年超	12.0	88.0

1年以内に結婚した夫婦の6割以上が
「結婚するまでに同棲した」と回答

Q. 同棲期間を教えてください

(結婚するまでに「同棲した」と回答した人。全体・結婚年数別)

	～1年 (%)	～3年 (%)	～5年 (%)	～10年 (%)	～15年 (%)	～20年 (%)	～25年 (%)	25年超 (%)	平均 (0カ月含む)
全体	19.0	9.6	2.8	1.8	0.4	-	0.1	0.1	8カ月
～1年	32.0	25.6	7.2	1.6	-	-	-	0.8	17カ月
～3年	30.7	16.4	8.6	2.1	0.7	-	-	-	14カ月
～5年	37.1	12.9	2.6	7.8	0.9	-	-	-	16カ月
～10年	21.9	16.3	4.4	3.1	1.3	-	-	0.6	14カ月
～15年	26.7	10.6	1.2	2.5	1.2	-	-	-	10カ月
～20年	20.6	7.1	3.5	2.8	-	-	-	-	8カ月
～25年	18.2	6.9	1.3	0.6	0.6	-	-	-	5カ月
25年超	7.4	3.4	0.8	0.2	-	-	0.2	-	2カ月

2. 現在の夫婦関係

(1) 夫婦円満について

夫婦円満の秘訣は“よく会話”すること
家事分担は当たり前？“家事への満足度”が夫婦円満に影響か

① 現在の夫婦関係と円満の秘訣について

○現在の夫婦関係が円満であるかについて聞いてみました。

○「夫婦仲が円満」と回答した人（「円満である」「まあ円満である」の合計）は78.4%と、昨年の75.8%よりも2.6p tアップしました。

○続いて「夫婦円満のために必要なこと」を聞きました。

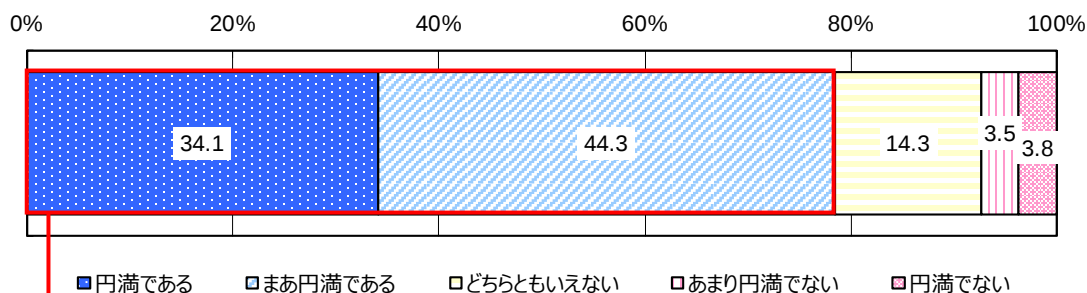
○トップは「よく会話する」（49.3%）、次いで「感謝の気持ちを伝える」（33.5%）、
「干渉しすぎない」（30.7%）と、程よい距離感は保ちつつ、日常での会話と相手への感謝の気持ちが大切になるようです。

○「夫婦の会話時間」について、“夫婦仲が円満”な人の休日1日あたりの会話時間は、4時間30分あり、“夫婦仲が円満でない”人は約50分と、5倍以上もの開きがありました。

○仕事や家事など忙しい中でも、夫婦の会話時間をしっかりと取ることが“夫婦円満”の秘訣なのかもしれません。

Q. 現在の夫婦関係は円満ですか（単一回答）

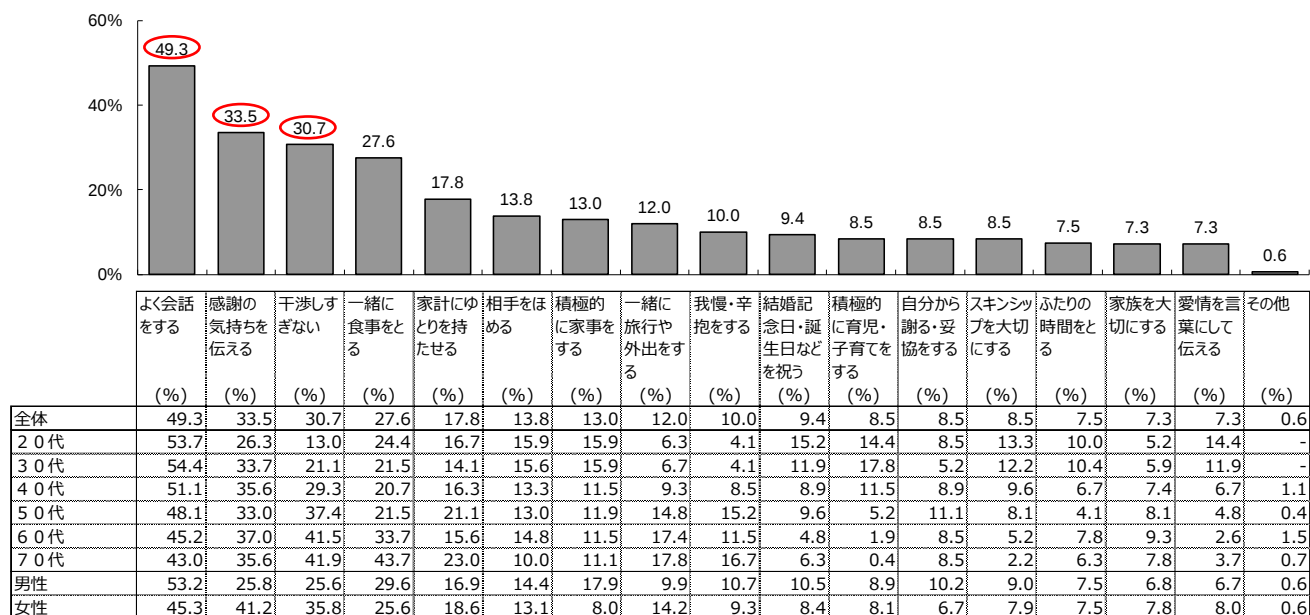
（全体）



78.4%が“夫婦仲が円満”と回答！

Q. 夫婦円満のために必要だと思うことは何ですか（複数回答）

（全体、年代別、男女別）



Q. 夫婦の会話時間を教えてください

（全体、円満・円満でない）

		0分 (%)	1～30分 (%)	～1時間 (%)	～2時間 (%)	～3時間 (%)	3時間超 (%)	平均 (0分含む)
平日	全体	4.6	14.3	27.8	22.4	15	15.9	125分
	円満である計	1.7	9.6	27.2	25.1	17.8	18.6	141分
	円満でない計	28.6	44.5	24.4	0.8	0.8	0.8	26分
休日	全体	3.8	8.6	14.9	17.2	14.7	40.7	232分
	円満である計	1.1	4.6	12.8	17.6	15.9	48	266分
	円満でない計	25.2	39.5	14.3	10.1	5	5.9	50分

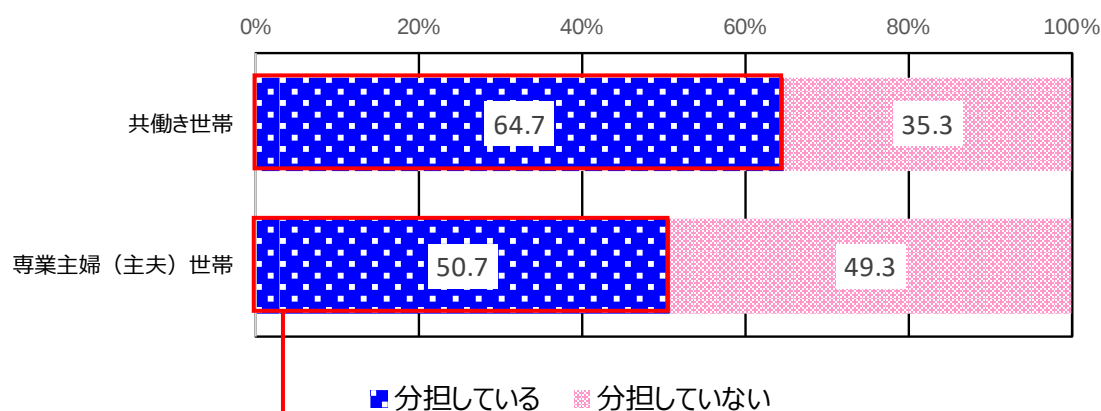
“夫婦仲が円満” “夫婦仲が円満でない” 夫婦の会話時間には
平日で115分、休日で216分の差が！！

② 家事の分担と夫婦円満について

- “共働き世帯” に“家事の分担”について聞くと、64.7%が「分担している」と回答し、“専業主婦（主夫）世帯”の50.7%より14.0 p t 多い傾向になりました。
- 男女別に担当している家事を聞くと、男性は「ゴミ出し」（68.9%）、「食器洗い」（54.1%）、「風呂場の掃除」（51.9%）で、女性は「料理」（88.2%）、「洗濯」（83.8%）、「食料品・日用品等の買い物」（80.8%）の順となりました。
- 共働き世帯のうち、「配偶者の家事に満足」している人の約8割（81.3%）が“夫婦仲が円満”であるのに対し、“夫婦仲が円満でない”人で「配偶者の家事に満足している人」は3割以下（26.8%）という結果となりました。
- “共働き世帯”は69.2%を占め、昨年の調査（67.2%）から2.0 p t 増加しています。
- 共働き世帯が増えているなか、夫婦ともに“当たり前”に家事を行なっていくことが、“夫婦円満”のニュースタンダードになっていくのかもしれません。

Q. 家事を分担していますか（単一回答）

（共働き世帯、専業主婦（主夫）世帯）



“共働き世帯”は“専業主婦（主夫）世帯”より
14.0 p t 「家事を分担」している

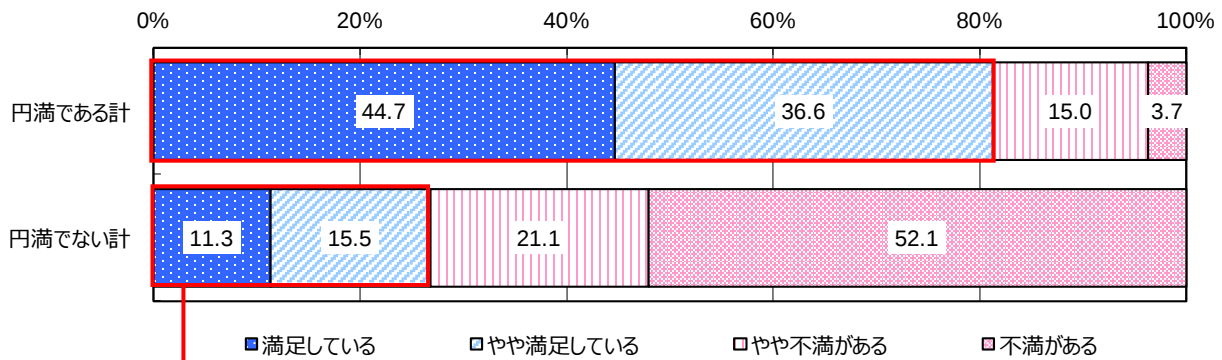
Q. 担当している家事を教えてください（複数回答）

（共働き世帯、全体）

	ゴミ出し (%)	風呂場の 掃除 (%)	食器洗い (%)	ゴミの分別 (%)	部屋の 掃除 (%)	食料品・日 用品等の 買い物 (%)	洗濯 (%)	トイレ掃除 (%)	料理 (%)	家計の 管理 (%)	その他 (%)
男性（共働き世帯）	68.9	51.9	54.1	39.8	36.8	31.5	35.0	34.3	33.1	21.2	2.0
女性（共働き世帯）	49.7	57.1	76.9	73.6	79.1	80.8	83.8	72.8	88.2	66.5	31.9
男性（全体）	68.9	50.5	50.4	37.8	36.5	32.7	32.0	32.0	30.1	22.7	3.7
女性（全体）	48.3	60.5	80.7	75.4	80.0	81.6	86.2	79.1	89.3	65.6	1.4

Q. 配偶者の家事に満足していますか（単一回答）

（共働き世帯のうち、円満・円満でない人）



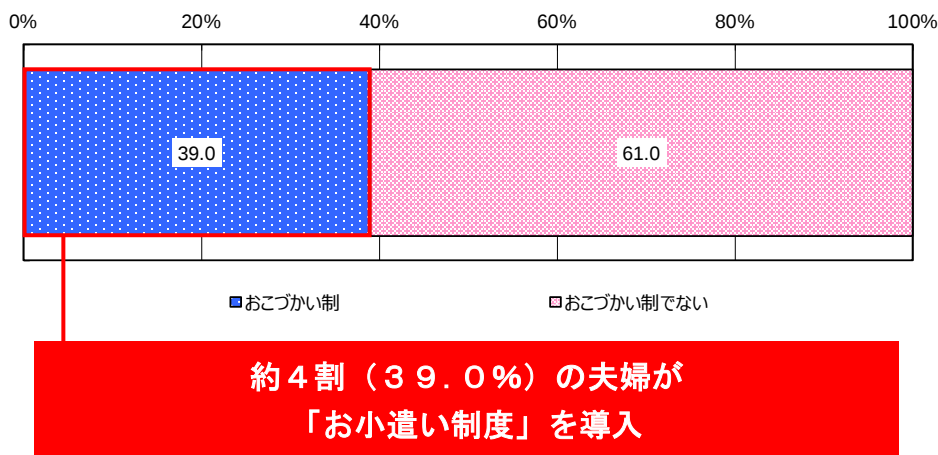
“夫婦仲が円満”な人は81.3%が「配偶者の家事に満足」しているが、
“夫婦仲が円満でない”人で「配偶者の家事に満足」している人は26.8%のみ

（２）夫婦のお財布事情

年収増えても家庭内の“賃上げ”は据え置きに？ “お小遣い額が増えた”人は僅少

- “お小遣い制度を導入している”夫婦に、気になるお財布事情を聞いてみました
- 「お小遣い制度を導入」している夫婦は全体の４割（３９．０％）で、ひと月あたりの「お小遣い額」の平均は３０，６８０円となりました。
- また、“夫婦仲が円満”な人のお小遣い額は平均３１，０８０円であるのに対し、“夫婦仲が円満でない”人は平均１９，４９０円と、約１２，０００円の差が生じています。
- 昨年より「世帯年収が増えた」人は３１．６％となりましたが、お小遣い額が「増えた」人はわずか４．６％に留まり、約９割（９１．８％）が「変更していない」と回答しました。家庭内の“賃上げ”は据え置きとなっている状況のようです。
- 一方で、「物価高の影響を感じる」と回答した人は約９割（９２．０％）で、特に影響を感じる項目は「食料品」（９６．０％）、「光熱費」（４８．７％）、「ガソリン代」（４２．５％）と生活費への影響が大きいようです。
- 年収の増加を上回る“生活費の高騰”が、夫婦のお小遣いアップを妨げているのかもしれない。

Q. お小遣い制度を導入していますか（単一回答） （全体）



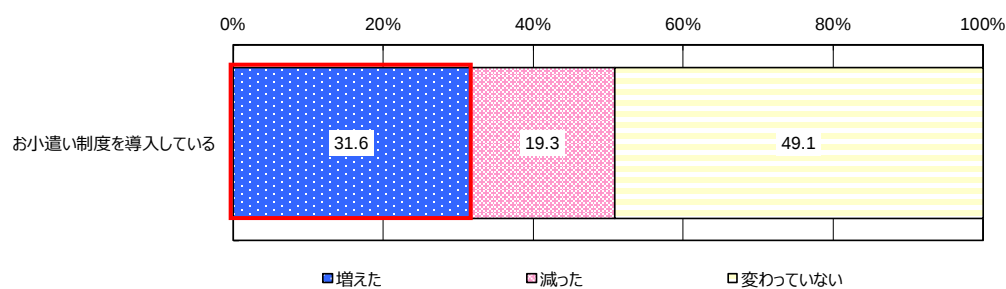
Q. お小遣い金額を教えてください

（お小遣い制度を導入している人。全体、円満・円満でない）

	お小遣い額
全体	30,680円
円満である計	31,080円
円満でない計	19,490円

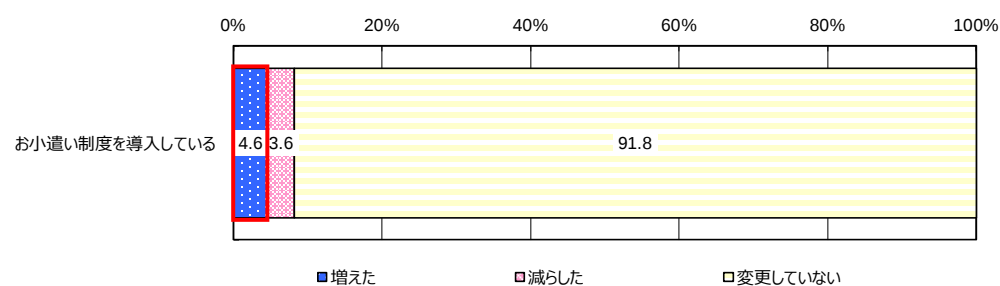
Q. 昨年と比較して世帯年収は増減しましたか

(お小遣い制度を導入している夫婦)



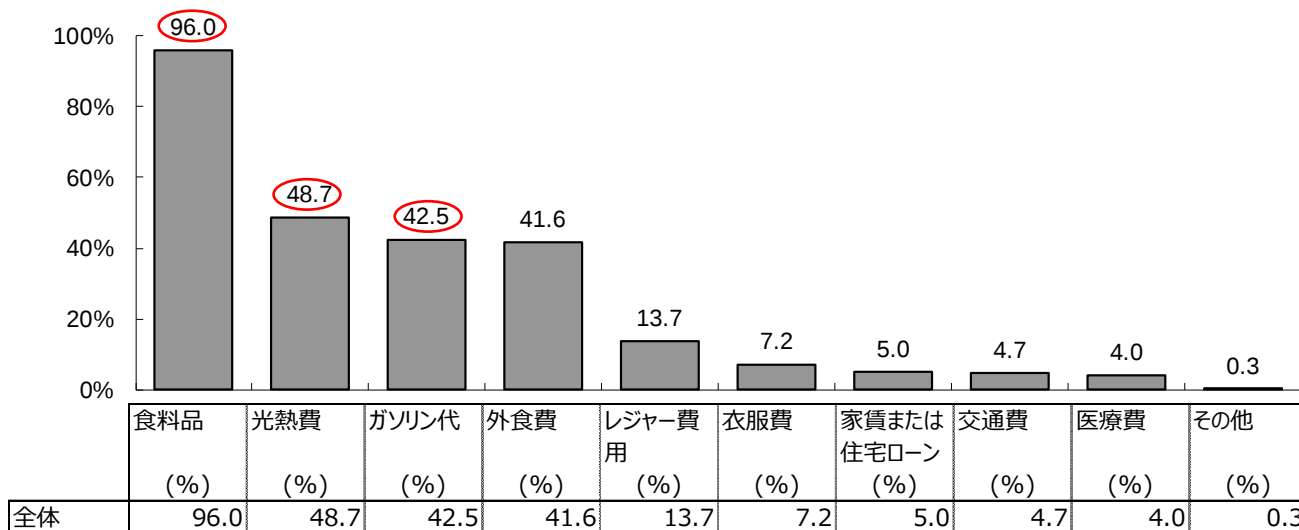
Q. 昨年と比較してお小遣い額は増減しましたか

(お小遣い制度を導入している夫婦)



Q. 物価高の影響を特に感じるものを教えてください

(全体)



(3) 夫婦とA I

“お金の管理”も“夫婦げんか”にもA Iが活躍 7割超の夫婦がA Iを活用！

○A Iの進化が目覚ましい昨今。夫婦生活でもA Iが活用されているのか聞いてみました。

○出会いや結婚生活において「A Iの意見を参考にする機会」があるかを聞くと、全体の7割超（75.1%）が参考にする機会があると回答しました。

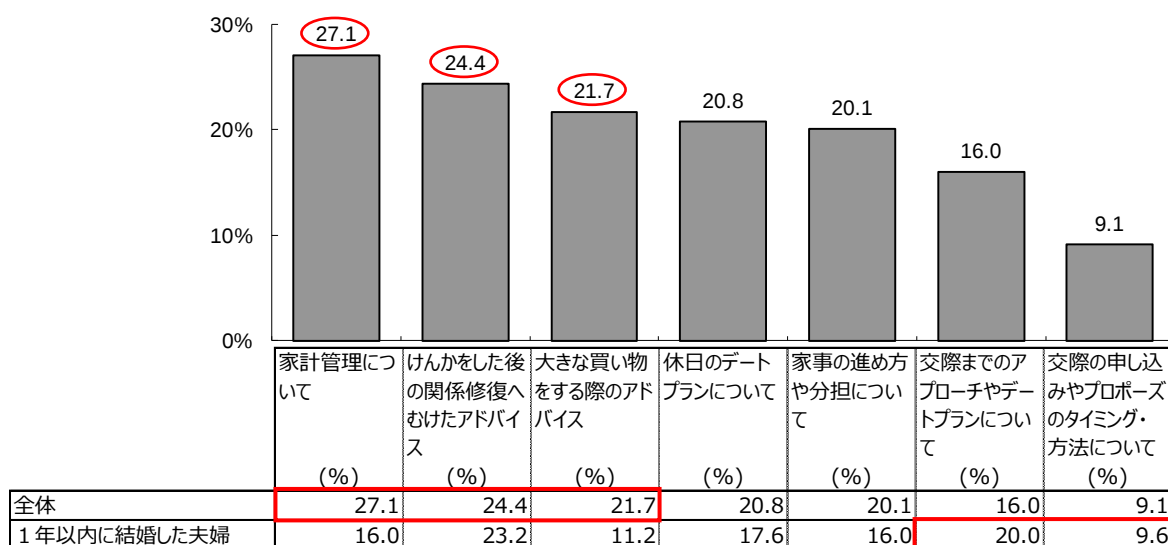
○具体的な活用機会は、「家計管理」（27.1%）がトップで、続いて「けんか後の関係修復」（24.4%）、「大きな買い物をする際」（21.7%）の順になり、A Iは“お金の管理”や“けんかの仲裁役”まで広く相談相手になっているようです。

○また、1年以内に結婚した夫婦では「交際までのアプローチやデートプラン」（20.0%）や「交際の申し込みやプロポーズのタイミング・方法」（9.6%）等の交際期間でもA Iを活用した人が約3割（29.6%）になりました。

○人に話しにくいことでも、相談できる相手としてA Iが活躍しているのかもしれません。

Q. A Iの意見を参考にする機会を教えてください（複数回答）

（全体、1年以内に結婚した夫婦（20代から50代が回答））



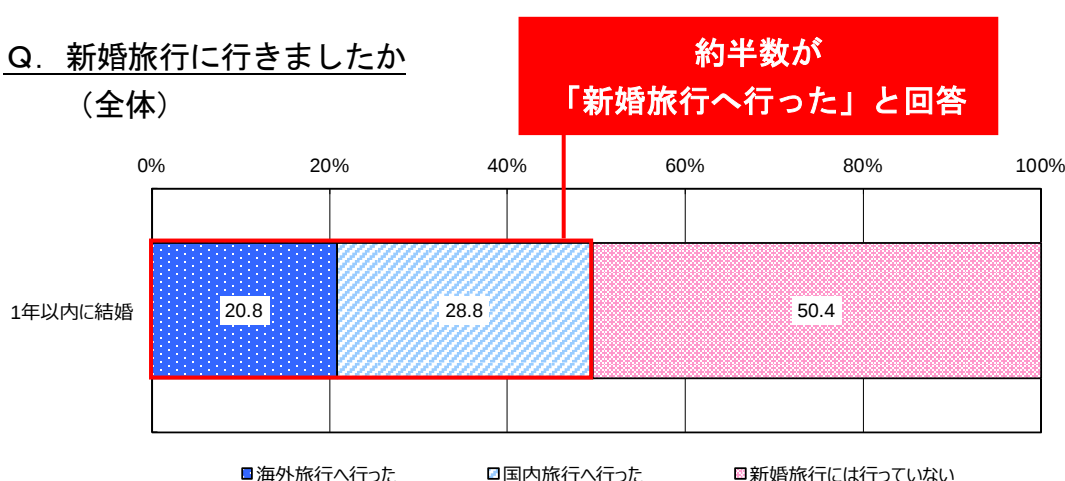
1年以内に結婚した夫婦では
約3割（29.6%）が交際期間でもA Iを活用

3. 新婚旅行

円安・物価高の影響で、新婚旅行は国内旅行が人気に

- 1年以内に結婚した人では、約半数（49.6%）が新婚旅行へ行っており、そのうち、「海外旅行へ行った」人は41.9%、「国内旅行へ行った」人は58.1%と、国内旅行が多数派になりました。
- 1年以内に結婚した人に新婚旅行にかかった費用を聞くと、「海外旅行へ行った」人は平均89万7,523円、「国内旅行へ行った」人は平均27万6,667円と、海外旅行は国内旅行の3倍以上の費用がかかります。
- 1年以内に結婚した人に、海外旅行へ行かなかった理由を尋ねると、「国内に行きたい旅行先があった」（30.3%）がトップに。また「円安の影響で費用がかかるから」（18.2%）、「海外は国内を上回る物価高により費用がかかるから」（12.1%）と、円安・物価高による影響が足枷となっている人が約3割（30.3%）を占める結果となりました。
- 1年以内に結婚した人の新婚旅行の行き先は、「沖縄」（22.4%）、「ヨーロッパ」（16.1%）、「北海道」（11.3%）、「ハワイ」（9.7%）の順で人気になりました。
- 円安・物価高が長引く限り、国内旅行の人気は続くのかもしれません。

Q. 新婚旅行に行きましたか
(全体)



Q. 新婚旅行にかかった費用を教えてください

(「新婚旅行へ行った」と回答した人。全体・結婚年数別)

■「海外旅行に行った」人

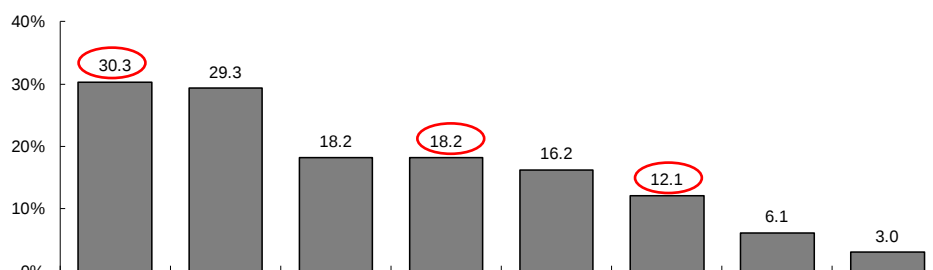
		～10万円 (%)	～20万円 (%)	～30万円 (%)	～50万円 (%)	～100万円 (%)	～150万円 (%)	～200万円 (%)	200万円超 (%)	平均
【結婚年数】	全体	1.7	6.9	14.6	28.0	38.9	7.2	1.6	1.1	661,931円
	～1年	-	-	7.7	15.4	46.2	26.9	3.8	-	897,523円
	～3年	-	4.3	13.0	17.4	30.4	13.0	17.4	4.3	1,025,525円
	～5年	8.3	8.3	8.3	25.0	33.3	16.7	-	-	691,667円
	～10年	8.5	5.1	13.6	25.4	40.7	5.1	-	1.7	623,892円
	～15年	3.2	7.9	20.6	19.0	33.3	14.3	1.6	-	656,159円
	～20年	3.2	4.8	15.9	38.1	31.7	4.8	-	1.6	609,286円
	～25年	-	9.1	11.7	32.5	44.2	2.6	-	-	606,273円
	25年超	0.3	7.5	15.0	29.2	40.1	5.3	1.3	1.3	647,403円

■「国内旅行に行った」人

		～10万円 (%)	～20万円 (%)	～30万円 (%)	～50万円 (%)	～100万円 (%)	～150万円 (%)	～200万円 (%)	200万円超 (%)	平均
【結婚年数】	全体	36.5	29.9	15.5	14.6	3.1	-	0.3	-	221,349円
	～1年	38.9	22.2	13.9	19.4	2.8	-	2.8	-	276,667円
	～3年	42.1	18.4	15.8	22.4	1.3	-	-	-	218,679円
	～5年	48.9	25.5	10.6	8.5	6.4	-	-	-	177,235円
	～10年	46.6	20.7	13.8	13.8	5.2	-	-	-	214,638円
	～15年	50.0	35.4	8.3	4.2	2.1	-	-	-	157,500円
	～20年	30.0	27.5	17.5	20.0	5.0	-	-	-	242,975円
	～25年	44.2	32.6	9.3	11.6	2.3	-	-	-	191,884円
	25年超	26.2	36.9	19.3	14.6	2.6	-	0.4	-	239,120円

Q. 海外旅行に行かなかった理由を教えてください(複数回答)

(結婚年数別)



		国内に行きたい旅行先があったから (%)	十分なスケジュールを確保できなかったから (%)	妊娠・出産を控えていたため (%)	海外旅行は円安の影響で費用が高いから (%)	新婚旅行に関心がなかったから (%)	海外は国内を上回る物価高により費用が高いから (%)	海外旅行は治安や言語などの心配があるから (%)	その他 (%)
【結婚年数】	～1年	30.3	29.3	18.2	18.2	16.2	12.1	6.1	3.0
	～3年	47.0	21.4	7.7	14.5	14.5	9.4	11.1	6.8
	～5年	25.0	22.1	14.4	8.7	21.2	3.8	5.8	14.4
	～10年	42.6	28.7	8.9	10.9	16.8	9.9	7.9	4.0
	～15年	31.6	26.5	15.3	8.2	22.4	6.1	10.2	5.1
	～20年	32.1	28.2	19.2	3.8	28.2	2.6	5.1	1.3
	～25年	30.5	35.4	25.6	2.4	20.7	1.2	11.0	8.5
	25年超	48.8	27.4	8.7	3.0	7.7	3.7	11.7	6.7

～エコノミスト 藤田 敬史はこう見る！～

■明治安田総合研究所 エコノミスト 藤田 敬史



新婚旅行は夫婦の絆を深めるだけでなく、地域の文化や自然を体験する貴重な機会でもあります。アンケート調査によると、直近1年以内に結婚した夫婦の新婚旅行先は、国内旅行が海外旅行を上回りました。海外旅行を選ばなかった理由としては、「円安の影響で費用が高いから（18.2%）」、「国内を上回る物価高により費用が高いから（12.1%）」といった経済的要因が約3割を占めています。海外旅行の費用は国内旅行の3倍以上（海外平均89万7,523円、国内平均27万6,667円）に達しており、この費用差が夫婦の旅行先選択に大きな影響を与えています。今後も円安や物価高が続く場合、国内旅行志向がさらに強まる可能性があります。

国内旅行を選んだ理由としては、「国内に行きたい旅行先があった（30.3%）」が最多で、前向きな理由で選ばれています。特に「沖縄（30.6%）」や「北海道（19.4%）」など、国内屈指の観光地が高い人気を誇っています。新婚旅行は象徴的なハレ消費であり、特別なイベントとして位置づけられ、消費額も比較的高い傾向があります。そのため、企業や自治体が観光分野に積極的に投資することで、新婚旅行においても国内旅行の需要が継続的に拡大し、地域経済の活性化につながることを期待されます。

一方、半数（50.4%）が新婚旅行を見送っており、その理由のトップは「十分なスケジュールを確保できなかったから」（29.3%）でした。経済的な要因だけでなく、共働き夫婦の増加など社会的な要因も複合的に影響している可能性があります。結婚後すぐに旅行に行くことにこだわらず、しっかりスケジュールが取れる時にゆっくりと旅行を楽しむという選択をする夫婦も増えているのかもしれない。

4. 理想の有名人夫婦

「DAIGO・北川景子」夫妻が初のトップに！
「大谷翔平・真美子」「ヒロミ・松本伊代」夫妻が同率2位にランクイン！

○毎年恒例の「理想の有名人夫婦」について聞いてみました。

○第1位は「DAIGO・北川景子」夫妻。30代から圧倒的な支持を集め、初のトップとなりました。「仕事と子育てを両立しながら活躍し続けている」等、夫婦で子育てを楽しみながらも活躍し続ける姿への憧れの声が多く集まりました。

○第2位は「大谷翔平・真美子」夫妻。「笑顔で夫を支えているから」「爽やかで、お互いを大切にしていることが伝わる」等、MLBで4度目のMVPを受賞する等、世界で活躍する大谷選手を支える真美子夫人に共感する意見が多くありました。

○同じく、同率で第2位の「ヒロミ・松本伊代」夫妻は、40～60代を中心に幅広く支持を集めました。「いつまでも仲が良い」と円満な夫婦としてのイメージが定着しています。

○また、「杉浦太陽・辻希美」夫妻は20代からトップの支持を受け、6位にランクイン。

「夫が家事や育児に積極的」「第5子を産む際も夫婦でよく話し合っていた」等、夫婦がしっかりと協力しながら、子育てをしている姿が人気の理由のようです。

Q. 理想の有名人夫婦は（単一回答）※敬称略

理想の有名人夫婦トップ10

順位	理想の有名人夫婦	占率	回答者数	昨年順位
1位	DAIGO・北川景子	6.5%	106人	(3位)
2位	大谷翔平・真美子	6.4%	103人	(1位)
2位	ヒロミ・松本伊代	6.4%	103人	(1位)
4位	反町隆史・松嶋菜々子	5.6%	90人	-
5位	唐沢寿明・山口智子	5.4%	88人	(4位)
6位	杉浦太陽・辻希美	4.7%	76人	(9位)
7位	桑田佳祐・原由子	3.1%	51人	(5位)
8位	藤井隆・乙葉	3.0%	49人	(6位)
9位	中尾明慶・仲里依紗	2.7%	43人	(12位)
10位	西川きよし・西川ヘレン	2.6%	42人	(7位)

順位	理想の有名人夫婦	全体																				男性														女性													
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	20代	30代	40代	50代	60代	70代																								
1位	DAIGO・北川景子	6.5%	7.8%	13.0%	7.4%	4.4%	4.1%	2.6%	5.1%	6.7%	11.9%	5.2%	3.0%	1.5%	2.2%	8.0%	8.9%	14.1%	9.6%	5.9%	6.7%	3.0%	5.1%	6.7%	11.9%																								
2位	大谷翔平・真美子	6.4%	8.9%	5.6%	3.3%	5.6%	4.1%	10.7%	6.4%	8.1%	6.7%	3.0%	7.4%	3.7%	9.6%	6.3%	9.6%	4.4%	3.7%	3.7%	4.4%	11.9%	6.4%	8.9%	5.6%																								
2位	ヒロミ・松本伊代	6.4%	3.3%	2.6%	8.5%	10.0%	8.9%	4.8%	5.8%	3.7%	0.7%	7.4%	8.9%	8.9%	5.2%	6.9%	3.0%	4.4%	9.6%	11.1%	8.9%	4.4%	6.4%	3.3%	2.6%																								
4位	反町隆史・松嶋菜々子	5.6%	4.4%	7.0%	8.5%	5.9%	4.1%	3.3%	5.6%	6.7%	5.9%	8.1%	5.9%	3.7%	3.0%	5.6%	2.2%	8.1%	8.9%	5.9%	4.4%	3.7%	5.6%	4.4%	7.0%																								
5位	唐沢大明・山口智子	5.4%	1.1%	4.1%	6.7%	11.5%	5.9%	3.3%	3.8%	0.7%	3.0%	4.4%	8.1%	4.4%	2.2%	7.0%	1.5%	5.2%	8.9%	14.8%	7.4%	4.4%	5.4%	1.1%	4.1%																								
6位	杉浦太陽・辻希美	4.7%	12.2%	9.3%	3.7%	0.4%	1.1%	1.5%	2.7%	5.2%	8.1%	2.2%	0.7%	-	-	6.7%	19.3%	10.4%	5.2%	-	2.2%	3.0%	4.7%	12.2%	9.3%																								
7位	桑田佳祐・原由子	3.1%	-	-	1.5%	5.2%	7.0%	5.2%	2.8%	-	-	2.2%	3.7%	6.7%	4.4%	3.5%	-	-	0.7%	6.7%	7.4%	5.9%	3.1%	-	-																								
8位	藤井隆・乙葉	3.0%	0.7%	4.8%	6.7%	3.3%	1.9%	0.7%	2.5%	0.7%	3.7%	5.2%	3.7%	0.7%	0.7%	3.6%	0.7%	5.9%	8.1%	3.0%	3.0%	0.7%	3.0%	0.7%	4.8%																								
9位	中尾明慶・仲里依紗	2.7%	7.0%	4.8%	1.5%	-	1.5%	1.1%	2.2%	5.9%	3.7%	1.5%	-	1.5%	0.7%	3.1%	8.1%	5.9%	1.5%	-	1.5%	1.5%	-	7.0%	4.8%																								
10位	西川佳よし・西川ハレン	2.6%	0.4%	0.4%	1.1%	1.1%	4.1%	8.5%	3.5%	0.7%	0.7%	0.7%	2.2%	5.9%	10.4%	1.7%	-	-	1.5%	-	2.2%	6.7%	2.6%	0.4%	0.4%																								